

重要物流道路の概要

○ 物流の更なる円滑化等を図るため、物流の観点から重要な道路を「重要物流道路」として国土交通大臣が指定し、機能強化を推進。

＜重要物流道路指定の効果＞

（物流を取り巻く課題）

物流は、生活や経済活動を支える必要不可欠なものであり、ドライバー不足等の課題に対し、トラック大型化への対応等の生産性の向上が急務。



2018年道路法改正により、重要物流道路制度を創設

- 道路構造の基準を国際海上コンテナ車対応に引上げ
- 構造上支障のない区間は、国際海上コンテナ車の特車許可不要
- 地方自治体事業は個別補助制度も活用して支援



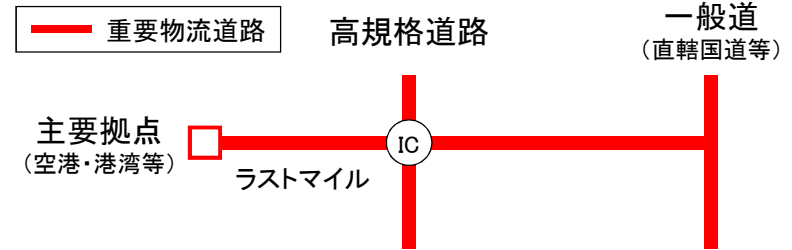
（参考）道路構造の基準

	専ら道等	一般道	重要物流道路
長さ	16.5m	12m	16.5m
幅	2.5m	2.5m	2.5m
高さ	3.8m	3.8m	4.1m
前端オーバハング*	1.3m	1.5m	1.3m
軸距	前軸距 4m 後軸距 9m	6.5m	前軸距 4m 後軸距 9m
後端オーバハング	2.2m	4m	2.2m
最小回転半径	12m	12m	12m

重要物流道路に指定

*「専ら道等」は第1種、第2種、第3種第1級、第4種第1級の道路で、「一般道」はそれ以外の道路。

＜ネットワークのイメージ＞



＜指定状況(2023.4.1)＞

候補路線 380路線
(対象：高規格道路)



優先区間の検討等

計画区間 89区間
(対象：高規格道路)



概略ルート・構造の検討
都市計画・環境アセスメント等

事業区間 約2,800km
(対象：全ての道路)



用地買収・工事等

供用区間 約36,000km
(対象：全ての道路)